

輸送動向について（1月分）

平成28年2月

1. 輸送概況

今月は、北日本地区及び関東地区における大雪等の影響により、月全体では高速貨 216本、専貨4本が運休となった（前年は、高速貨122本が運休）。

コンテナ貨物は、鉄道へのシフトが進んでいる積合せ貨物、食料工業品が増送となったほか、エコ関連物資が前年を上回った。

一方、景気低迷による売れ行き不振により、紙・パルプ及び化学工業品を始め殆どの品目において不調であったことに加えて、大雪による自然災害により、これまで好調な発送であった北海道地区の玉葱及び馬鈴薯等が大きく影響を受けたことから、コンテナ貨物全体では前年比95.5%となった。

車扱貨物は、セメントが前月の顧客工場定期修理実施により反動増となった一方で、石油が上旬から中旬にかけての気温上昇に伴う灯油の売れ行き不振等により、車扱貨物全体では前年比99.8%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比96.9%となった

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,625	1,702	95.5%	18,250	17,775	102.7%
車 扱	837	838	99.8%	7,002	7,153	97.9%
合 計	2,462	2,540	96.9%	25,252	24,928	101.3%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増 減	前年比
コンテナ	農 産 品・青果物	164	177	-13	92.9%
	化 学 工 業 品	156	167	-11	93.5%
	化 学 薬 品	123	132	-9	93.7%
	食 料 工 業 品	226	226	0	100.3%
	紙 ・ パ ル プ	262	287	-25	91.3%
	他 工 業 品	115	121	-6	95.2%
	積 合 せ 貨 物	191	178	13	106.9%
	自 動 車 部 品	53	61	-8	87.1%
	家 電・情 報 機 器	31	35	-4	88.5%
	エ コ 関 連 物 資	37	35	2	107.1%
	そ の 他	266	284	-18	93.6%
コ ン テ ナ 計	1,625	1,702	-77	95.5%	
車 扱	石 油	581	595	-14	97.7%
	セメント・石灰石	110	102	8	107.5%
	車 両	94	84	10	112.1%
	そ の 他	51	57	-6	90.0%
	車 扱 計	837	838	-1	99.8%
合 計	2,462	2,540	-78	96.9%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)